

2016年第2回 IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2016年7月8日（金） 14:00～17:20

場所：ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間 東

出席者：青山 Chair、雁部 Vice Chair、原崎 Secretary、藤代 Treasurer、土橋(代理)、中沢、原田(代理)、西宮、古橋、種谷、熊木(代理)、丹治(代理)、船曳、勝木(代理)、杉山、桑原、持田、千葉、高村、白川、杉江、津田、尾上、南、橋本、西原(敬称略、順不同)

オブザーバ：百武、岩井、李、中西(敬称略、順不同)

事務局：加藤 幹事会社：柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料 (1)
2. 2016年 Japan Council 理事会の構成 資料 (2)
3. 2017/2018年役員選出について【審議】 資料 (3)
4. 2016年上半期会計報告および Section 支援費申請状況報告 資料 (4)
5. 常設委員会活動状況報告 資料 (5)
 - 5-1 Chapter Operations Committee
 - 5-2 Student Activities Committee
 - 5-3 Awards Committee
 - 5-4 Industry Promotion Committee
6. Ad-Hoc 委員会活動状況報告 資料 (6)
 - 6-1 Long Range Strategy Committee
 - 6-2 History Committee
7. 各支部活動報告 資料 (7)
 - ・東京支部が親となる Joint Chapter からの MOU 申請処理手続きについて【審議】
8. Affinity Group 活動状況報告 資料 (8)
9. その他 資料 (9)
 - 9-1 R10 50 Year Celebrations in Bangalore への参加者について【審議】
 - 9-2 2017年 R10 Meeting 開催について
 - ・R10 Meet2017 及び、R10 設立 50周年・旧東京支部設立 60周年記念イベント実行委員会の設立について【審議】
 - 9-3 IEEE Constitutional Amendment について
 - 9-4 R10 内における Young Professionals Affinity Group 立ち上げについて
 - 9-5 IEEE BoD 来訪スケジュールについて
 - 9-6 WEB サーバ移行状況報告

議事：

0. 青山 Chair ご挨拶

次回理事会が本年最後となる。次回に向け方向性を決める議論をお願いしたい。
鳥取での理事会開催アレンジのお礼が広島支部に伝えられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】

資料 (1)

原崎 Secretary より前回理事会 (2016 年 3 月開催) の議事録案について説明がなされ、
異議無く承認された。

2. 2016 年 Japan Council 理事会の構成

資料 (2)

原崎 Secretary より 2016 年 Japan Council 理事会構成の更新が報告された。

3. 2017/2018 年役員選出について【審議】

資料 (3)

千葉 Nomination Committee Chair より役員選出についての説明がなされた。次期
Japan Council Chair として津田氏、Vice Chair として尾上氏、Secretary として杉江
氏、Treasurer として眞田氏が候補として挙げられ、異議無く承認された。

4. 2016 年上半期会計報告および Section 支援費申請状況報告

資料 (4-1、4-2)

藤代 Treasurer より報告がなされた。上半期の報告に加え、年度末の予測が説明された。

5. 常設委員会活動状況報告

5-1 Chapter Operations Committee

資料 (5-1、別紙 1~3)

杉山 Chair より報告がなされた。JC COC Meeting の開催報告、Chapter 支援費の申
請状況、Award の登録状況が説明された。本年は Chapter 支援費の上限をあげ各
Chapter に活発な活動を要請している。

5-2 Student Activities Committee

資料 (5-2)

原崎 Secretary (中里 SAC Chair 代理) より報告がなされた。IEEE Student Branch
Leadership Workshop を関西支部主催 Metro Area Workshop (MAW) と連携して開
催する。R10 50 周年記念の SYWL Congress2016 へ JC SAC からは 5 名の支援を予定
している。

5-3 Awards Committee

資料 (5-3-1、5-3-2)

桑原 Chair より報告がなされた。JC AC 新体制の構成が紹介され、今後は各支部に新
委員の選出を依頼したいと述べられた。今後の取り組みについて、現在の活動範囲に加
え Fellow 推進についても活動範囲とすることが説明された。Committee の名称につい

ては、Award を複数形とする「Awards Committee」に統一していく。

5-4 Industry Promotion Committee

資料 (5-4)

持田 Chair より報告がなされた。若手メンバの増強を重点に、YP、SB との連携を強化している。4 月には日本にて IEEE Standard Association の Corporate Advisory Group の Workshop へ協力した。

6. Ad-Hoc 委員会活動状況報告

6-1 Long Range Strategy Committee

資料 (6-1)

はじめに雁部 Chair より報告がなされた。昨年の支部アンケート回答結果を基に 2017 年に向けた新たな施策の提案が行われた。次に予算分配方法について原崎 Secretary より報告がなされた。JC 予算策定に当たり各支部に対して 12 月開催の JC 理事会に次年度予算案および一年分の Section 支援費要求について提出をお願いすることとなった。

6-2 History Committee

資料 (6-2)

白川 Chair より報告がなされた。HISTELCON2017 に向けては、本年 11 月に第 4 回準備委員会を予定し準備を進めている。開催日程は 2017 年 8 月 7 日～8 日、場所は兵庫県立大学 ポートアイランドキャンパスを予定している。

7. 各支部活動報告

7-1 札幌支部

資料 (7-1)

土橋 Secretary より報告がなされた。活動については例年通り総会、理事会、事業開催を進めている。各種講演会開催や学生会員奨励事業を実施する。

7-2 仙台支部

資料 (7-2)

中沢 Chair より報告がなされた。Magnetics Society 仙台支部と札幌支部の Joint Chapter 発足を記念した講演会を開催した。MD 関連については本部より 2016 Outstanding Section Membership Recruitment Performance の表彰を受けた。

7-3 信越支部

資料 (7-3)

原田 Vice Chair より報告がなされた。例年通り役員会、事業開催を進めている。若手支援として IEEE Young Researcher Paper Award や学生への国際会議参加支援のための奨励賞も実施する。

7-4 東京支部

資料 (7-4)

杉江理事(萩本東京支部 Chair 代理)より報告がなされた。理事会内容および講演会開催、Affinity Group の活動状況が紹介された。

続けて、「東京支部が親となる Joint Chapter からの MOU 申請処理手続きについて【審議】」について説明がなされ、異議無く承認された。

7-5 名古屋支部

資料 (7-5)

古橋 Chair より報告がなされた。MAW2017 の開催内容については、人工知能・Deep Learning、車の自動運転、ロボット関係、の3つを候補として具体化を進める。

7-6 関西支部

資料 (7-6)

種谷 Vice Chair より報告がなされた。「蹴上発電所」の Milestone 授賞式は9月開催予定である。本部より 2016 Outstanding Section Membership Retention Performance の表彰を受けた。

7-7 四国支部

資料 (7-7)

丹治 Secretary より報告がなされた。学生支援として英語ブラッシュアップセミナーを開催する。また、電子情報通信学会と共催の学生交流会を開催する。

7-8 広島支部

資料 (7-8)

船曳 Chair より報告がなされた。活動については例年通り総会、理事会、講演会を開催している。IEEE 広島支部学生シンポジウム (HISS) を11月に開催予定である。昨年より英語プレゼンテーションの場を設けて学生支援を行っている。

7-9 福岡支部

資料 (7-9)

勝木 Vice Chair より報告がなされた。理事会、講演会等の開催については例年の活動を継続する。表彰関係については学生研究奨励賞および発表奨励賞を授与予定である。

8. Affinity Group 活動状況報告

資料 (8)

Women in Engineering Affinity Group 活動報告

橋本理事(矢野 WIE Chair 代理)より報告がなされた。4月に LMAG/YP/SB との交流会が開催された。毎年開催される San Jose での WIE ILC へ1名派遣を行った。

9. その他

9-1 R10 50 Year Celebrations in Bangalore への参加者について【審議】

資料 (9-1)

原崎 Secretary より審議依頼事項が説明された。8月に Bangalore にて開催の IEEE R10 50 周年記念イベントへ、JC からは合計 8 名の支援を行うことが異議無く承認された。

9-2 2017 年 R10 Meeting 開催について

資料 (9-2)

・ R10 Meet2017 及び、R10 設立 50 周年・旧東京支部設立 60 周年記念イベント実行委員会の設立について【審議】

津田 準備委員会 Chair より報告がなされた。はじめに日本開催の経緯と現状、準備委員会設立後の活動経緯、現在の開催案が説明された。引き続き津田 Chair より、準備委員会から実行委員会への移行についての審議依頼事項が説明され、異議無く承認された。実行委員会設立の承認を受け、津田 Chair より今後の予定および各支部へ参加検討のお願いが説明された。

9-3 IEEE Constitutional Amendment について

資料 (9-3)

原崎 Secretary より、8月15日から開始される 2016 年 IEEE Annual Election と同時に IEEE Constitution の改定に関する賛否が問われることが説明された。本件について JC としての対応を検討するに当たり各支部内での対応を検討いただきたい。支部で結論が出た場合には JC Secretary まで通知をお願いする。

9-4 R10 内における Young Professionals Affinity Group 立ち上げについて

資料 (無し)

西宮 東京支部選出理事 (東京支部 YP Chair) より報告がなされた。現在、西宮理事は東京支部 YP Chair と同時に R10 YP North Asia Coordinator にも就任している。各支部に YP を立ち上げることがミッションであるため、ぜひ各支部から活発な若手会員をご紹介いただきたい。WIE についても同様をお願いする。

9-5 IEEE BoD 来訪スケジュールについて

資料 (9-5)

原崎 Secretary より 8月31日～9月2日の訪問スケジュールが説明された。

9-6 WEB サーバ移行状況報告

資料 (9-6)

原崎 Secretary より WEB サーバの移行状況について報告がなされた。

【補足事項】

理事会終了後には同ホテル 鳳凰の間 西にて懇親会が開催された。

以上

【2016年第2回 IEEE Japan Council 理事会 集合写真】

